

令和8年8月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

マダイ稚魚の中間育成が終了して各地に放流

6月中旬から田子、網代地区で中間育成を行っていたマダイ稚魚は、放流に適した大きさの60mm以上に成長したため、7月14日に田子、7月23日に網代で計数作業を行いました。今年は開始当初に伊豆半島沿岸で赤潮が発生したものの、病気の発生はみられず順調に育成が進みました。中間育成中の生残率は、田子は77%、網代は79%、平均尾叉長は、田子は68mm、網代は71mmでした。網代では沖出し作業が荒天により2日間にわたったため、生残率がどうなるか心配でしたが、両地区ともに目標生残率を上回り、元気な稚魚を育成することができました。これらのマダイは、漁業者により伊豆半島の各地先に運ばれて放流されました。マダイ稚魚の放流は本県周辺の県でも行われており、海域全体の資源水準は高位で推移しています。



稚魚の計数作業



育成したマダイ稚魚



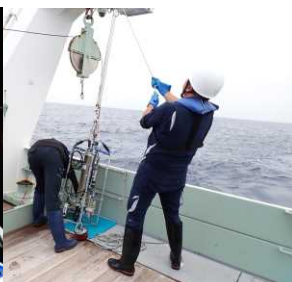
各地先へ放流

駿河丸でキンメダイ調査を実施

当場ではキンメダイ種苗生産技術開発に取り組んでいます。例年キンメダイの産卵期である7月に調査船駿河丸で親魚捕獲調査を実施しており、今年も7月27～29日に調査を行いました。今回はキンメダイを採捕したものの、残念ながら卵を獲得することはできませんでした。また、キンメダイの生息環境調査も実施しており、成熟や産卵場所の把握などに役立てたいと思います。今年度は、傭船による調査も行う予定で、卵の獲得・人工授精・ふ化仔魚の飼育を行っていきます。



左：キンメダイの親魚採捕



右：環境調査

吉佐美でアラムエ生育

平成29年から令和7年まで続いた黒潮大蛇行の影響で、伊豆半島沿岸では藻場を構成する主な海藻であるカジメがほぼ認められなくなりました。そのような中、関係者からの情報をもとに、吉佐美の入田浜に潜水して周辺を観察したところ、カジメの仲間のアラムエと思われる海藻が砂地から露出した岩上に密に生育していることを確認しました。このような光景を見るのは久しぶりです。引き続き、生育状況や分布の範囲など観察していきたいと思っています。



アラムエと思われる海藻が生育

8月の予定 ●潜水調査（白浜、稲取、仁科ほか） ●キンメダイ捕獲調査 ●キンメダイ資源評価会議（4日） ●マアジ資源評価会議（6日） ●県民の日イベント（7日） ●相模湾漁海況研究協議会（12日） ●栽培漁業検討会（19日）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。